

# 芦屋町高齢者福祉に関するアンケート調査(案)

## 【 調査ご協力のお願い 】

日頃より、町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

芦屋町では、令和5年度中に「第9期芦屋町高齢者福祉計画」を策定することとしています。そこで、高齢者の皆さまの健康や福祉に関する現状やお考えを把握するために、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、芦屋町にお住いの65歳以上の方から無作為に1,500人を抽出してお願いしております。(※住民基本台帳令和5年1月1日現在)

皆さまからのご回答は、芦屋町の高齢者福祉計画をはじめ、高齢者福祉行政に役立てるために利用させていただきます。

この調査の結果は統計的に処理し、この調査の目的以外に使用したり、個人のお名前が出たりすることは一切ありません。

ご多用とは存じますが、アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年X月 芦屋町長 波多野 茂丸

## 【 ご記入にあたって 】

1. この調査は、氏名を書く必要はありません。
2. このアンケートには、**令和5年1月1日**現在の状況で記入してください。
3. この調査の回答は、ご本人が回答してください。ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などがご本人の意見を十分に聞きながらご記入ください。
4. 回答は設問ごとに「いずれか1つに○」、「あてはまるものすべてに○」など、それぞれ指定されていますので、ご注意下さい。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**X月XX日(X)**までに郵便ポストにご投函ください。(差出人の氏名を書く必要はありません。)
6. その他、本調査についてご不明の点がありましたら、下記までお問い合わせください。

芦屋町 福祉課 高齢者支援係

電話:093-223-3536

## あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(いずれか1つに○)

- |       |       |           |          |
|-------|-------|-----------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他( ) | 4. 回答しない |
|-------|-------|-----------|----------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(いずれか1つに○)

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 65～69 歳 | 3. 75～79 歳 | 5. 85 歳以上 |
| 2. 70～74 歳 | 4. 80～84 歳 |           |

問3 あなたが住んでいる校区を教えてください。(いずれか1つに○)

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 芦屋小学校区 | 2. 芦屋東小学校区 | 3. 山鹿小学校区 |
|-----------|------------|-----------|

問4 あなたの世帯の状況について、お尋ねします。(いずれか1つに○)

- |  |
|--|
| 1. 一人暮らし世帯(同居者なし)                      |
| 2. 夫婦(内縁関係を含む)二人暮らし世帯                  |
| 3. 自分(及び配偶者)と、自分または配偶者の親との二世帯が同居する世帯   |
| 4. 自分(及び配偶者)と、自分の子どもの二世帯が同居する世帯        |
| 5. その他の世帯(三世帯以上が同居する世帯、その他の同居人がいる世帯など) |

## 日常生活の様子について

問5 あなたは、現在、日常生活で困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 炊事、洗濯、掃除、ごみの分別やごみ出しなど身の回りのこと |
| 2. 生活必需品の買い物のこと                 |
| 3. 自分の病気や介護のこと                  |
| 4. 家族の病気や介護のこと                  |
| 5. 金銭的に困窮していること                 |
| 6. 預金、家屋や土地などの財産管理や相続のこと        |
| 7. 外出時の移動手段のこと                  |
| 8. 話し相手や相談相手がいないこと              |
| 9. 暴言や暴力を受けていること                |
| 10. 特にない                        |
| 11. その他( )                      |

問6 あなたが、日常生活で困ったときに、もっとも支えてくれる人は誰ですか。  
(いずれか1つに○)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 同居の家族        | 4. 民生委員        |
| 2. 同居していない家族や親戚 | 5. その他( )      |
| 3. 地域の人         | 6. 支えてくれる人はいない |

問7 あなたが、将来の生活に不安を感じることは、どのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 自分の健康や病気、また、それらにより将来介護を必要とする状態になること |
| 2. 家族の健康や病気、また、それらにより将来介護を必要とする状態になること |
| 3. 頼れる人がいなくなった時のこと                     |
| 4. 生活費や老後の蓄えなど                         |
| 5. 財産管理や相続のこと                          |
| 6. 家族・親族との人間関係のこと                      |
| 7. 隣近所、友人・知人との付き合いのこと                  |
| 8. 子ども、配偶者など、家族の将来のこと                  |
| 9. 社会の仕組み(法律、税、社会保障)が大きく変わること          |
| 10. 地震や風水害など災害時の対応のこと                  |
| 11. その他( )                             |
| 12. 特に不安はない                            |

## 健康・介護予防について

問8 あなたは、健康のためにどんなことを心がけていますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 休養や睡眠を十分にとる       | 8. 趣味や学習活動などの楽しみを持つ    |
| 2. 食事に気をつける          | 9. 気持ちをなるべく明るく持つ       |
| 3. 歯や口の中を清潔に保つ       | 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う  |
| 4. 健康診断・各種検診を定期的に受ける | 11. 必要な治療のための通院を継続している |
| 5. 酒、タバコを控える         | 12. 仕事をする              |
| 6. 散歩や運動など体を動かす      | 13. その他( )             |
| 7. 地域の活動に参加する        | 14. 特に心がけていない          |

問9 あなたは、健康についてどのようなことが知りたいですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. がんや生活習慣病(高血圧や糖尿病など)にならないための工夫について
2. 望ましい食生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 歯の健康について
6. 認知症の予防について
7. 心の健康について
8. その他( )
9. 特にない

問10 あなたが、要介護状態にならないため、または今の状態を悪化させないために、町にどのような教室・事業をやってほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 運動・転倒予防に関すること(筋肉を使う運動、ストレッチなど)
2. 栄養改善に関すること(病気の予防のための食事内容や調理方法など)
3. 口腔機能に関すること(口腔の健康を保つための指導など)
4. 閉じこもりの予防・支援に関すること(外出・交流の場や機会の提供など)
5. 認知症の予防・支援に関すること(早期発見・早期受診のための取組など)
6. 心の健康に関して、相談や訪問による個別支援等を行うこと
7. その他( )
8. 特にない

問11 あなたには、「かかりつけ医※」がいますか。(歯科は除く)(あてはまるものすべてに○)

1. いる(町内)
2. いる(町外)
3. かかりつけ医はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている
4. そのような医師・医療機関はない

※「かかりつけ医」とは、病気になった時に気軽に相談でき、必要に応じて適切な専門医や病院の紹介をしてくれる地域の医師のことをいいます。

問12 あなたが、治療が難しい、または治る見込みがない病気と診断されたと仮定した場合、最後まで自宅で療養することは可能だと思います。(いずれか1つに○)

1. 可能だと思う
2. 不可能だと思う⇒問12-①へ
3. わからない

問12で「2. 不可能だと思う」と回答した方におうかがいします。

問12-① なぜ不可能だと思うのか教えてください。(いずれか1つに○)

1. 自宅では必要な医療を受けられないと思うから
2. 自宅では必要な介護を受けられないと思うから
3. 自宅の設備に不安があるから(段差がある、手すりがない、和式トイレなど)
4. 支え、見守ってくれる家族がないから
5. その他( )

問13 あなたが、治療が難しい、または治る見込みがない病気と診断されたと仮定した場合、どこで療養することを希望しますか。(いずれか1つに○)

1. 最後まで自宅で療養したい
2. できるだけ自宅で過ごして、最後は医療機関に入院したい
3. すぐに医療機関に入院したい
4. 介護施設(特別養護老人ホームなど)で療養したい
5. その他( )
6. わからない

**★希望した場所で療養できるように、必要な情報を整理しておきましょう**

どこで療養したいかという希望を実現するためには、必要な情報を日ごろから整理しておくことが大切です。

例えば、在宅で利用できる介護保険サービスの中には、訪問看護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などがあり、医師の指示に基づき看護師資格を持ったスタッフが看護ケアを提供しますので、住み慣れた自宅で療養できる可能性が高まります。

療養する場所の選択の幅を拓げるために、かかりつけの医師や、看護・介護職員に話を聞いたり、家族と相談したりして、希望する療養生活の実現に備えましょう。

## 社会参加・生きがいについて

問13 あなたは、近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(いずれか1つに○)

1. 親しく付き合っている
2. 立ち話をする程度の人はいる
3. あいさつをする程度の人はいる
4. 付き合いはほとんどない
5. その他( )

問14 あなたは、お住まいの地域に住民同士のつながりを感じますか。(いずれか1つに○)

1. とても感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問15 お住まいの地域について、あなたが、普段から感じていることが次の中にあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 近隣同士でよく挨拶や立ち話をしている
2. 困ったときは近隣同士で助けあっている
3. 地域の回覧板・掲示板などがよく活用されている
4. 自治区・老人会などの地縁団体の活動が活発に行われている
5. 公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている
6. ボランティア団体の活動などが活発に行われている
7. 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している
8. 学校等が実施している行事等に住民が積極的に参加している
9. その他( )
10. 特に感じていることはない(よく知らない)

問16 あなたは、通いの場(地域交流サロン、自治区体操教室、地域の親しい人の集まり、趣味のサークル等)に、定期的に参加していますか。(いずれか1つに○)

1. 参加している(具体的な通いの場: )
2. 以前は参加していたが、現在は参加していない
3. 参加していない
4. そのような集まりがあることを知らない

問17 あなたは、地域の人と一緒にいる、体操教室や地域交流サロン活動について、参加したいと思いますか。(いずれか1つに○)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 世話役として参加したい        | 4. 参加したくない⇒問17-①へ |
| 2. 世話役はしたくないが参加したい    | 5. 活動のことを知らない     |
| 3. 参加してもしなくても、どちらでもよい |                   |

問17で「4. 参加したくない」と回答した方におうかがいします。

問17-① その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 人との交流が苦手だから        | 5. 健康状態が良くないから   |
| 2. 参加する時間がない・合わないから   | 6. 内容に興味湧かないから   |
| 3. 一緒に行く人がいないから       | 7. マンネリ化で楽しくないから |
| 4. 自治区に加入しておらず行きづらいから | 8. その他( )        |

問18 あなたは、この1年の間に次のようなボランティア活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 子ども会の育成、郷土芸能の伝承などの「教育関連・文化啓発活動」   |
| 2. 学習活動・学校行事等の補助、校内の環境整備などの「学校支援活動」  |
| 3. 町内清掃、植樹や花植えなどの「生活環境改善活動」          |
| 4. 交通安全運動、防犯・防災のための見回りなどの「安全管理活動」    |
| 5. 高齢者のゴミ出し・買い物の支援などの「高齢者支援活動」       |
| 6. 保育の手伝いなどの「子育て支援活動」                |
| 7. 祭りや伝統行事等、地域の行事の世話役などの「地域行事に関する活動」 |
| 8. 参加したものはなし⇒問18-①へ                  |

問18で「8. 参加したものはなし」と回答した方におうかがいします。

問18-① その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 家庭の事情(通院、家事、介護や孫の世話など)があるから |
| 2. 仕事が忙しいから                    |
| 3. 健康・体力に自信がないから               |
| 4. どのような活動が行われているか知らないから       |
| 5. 気軽に参加できる活動が少ないから            |
| 6. 友人・知人や仲間がいないから              |
| 7. 活動に必要な技術、経験がないから            |
| 8. 過去に参加したが期待はずれだったから          |
| 9. 特に理由はない                     |

問19 町は、高齢者が地域の助け合いやボランティア活動などに参加するために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。あなたの考えにもっとも近いものに○を付けてください。(あてはまるもの2つまでに○)

1. ボランティア活動などに関する情報をもっと提供する
2. ボランティア活動への参加を希望する人向けの相談窓口を設ける
3. リーダー(指導者)の養成、活動者の確保のための機会を充実する
4. 優先予約・利用料減免など、活動のための公共施設の利用がしやすい環境を整える
5. ボランティア活動を行う団体のための専用スペースを確保する
6. ボランティア活動などで事故が生じた際の補償制度の普及(ボランティア保険など)
7. ボランティア活動にかかる費用の助成を行う
8. 特に取り組む必要はない

問20 あなたが、これからやってみたいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 報酬を得て行う労働(商工業、農業、漁業等の自営を含む)
2. 学習や教養を高めるための活動
3. 健康づくりや運動など体を動かす活動
4. 趣味の活動
5. 老人クラブ(老人会)活動
6. 社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)
7. 自治区の活動(区長や班長などの役割)
8. その他( )
9. 特にない

## 就労について

問21 あなたは、現在、働いて収入を得ていますか。(いずれか1つに○)

1. 収入を得ている⇒問21-①へ
2. 収入を得ていない⇒問21-②へ

問21で「1. 収入を得ている」と回答した方におうかがいします。

問21-① 働いている理由は何ですか。(いずれか1つに○)

1. 生活費や将来への蓄えのため
2. 健康によいから
3. 友人・知人がほしいから
4. 経験や能力を活かしたいから
5. 生きがいを得たいから
6. その他( )



問21で「2. 収入を得ていない」と回答した方におうかがいします。

問21② 働いていない理由は何ですか。(いずれか1つに○)

1. 働きたいが、働く場所や機会にめぐまれないから
2. 働きたいが、健康上の問題があり働ける状態にないから
3. 働きたいが、家庭の事情(要介護者等の世話)があるから
4. 働かなくても生活できるから
5. その他( )

問22 あなたは、60歳以上の方の雇用の場を確保するために町が行っている、「高齢者能力活用事業」を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 知っていて、実際に登録・作業に従事している(していた)
2. 知っているが、登録したことはない
3. 知らなかった

※高齢者能力活用事業…町が芦屋町社会福祉協議会に委託して行っている、おおむね60歳以上の働く意欲を持った方に、軽作業や過去の経験を活かして働く場を提供するための事業です。事業を利用するためには、あらかじめ芦屋町社会福祉協議会への登録が必要です。

(問合せ先:芦屋町社会福祉協議会 高齢者能力活用事業係 TEL093-222-2818)

## 認知症について

問23 あなたは、「認知症」について、心配や不安なことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分のことで、最近「もの忘れ」があり認知症ではないかと心配である
2. 家族のことで、最近「もの忘れ」があり認知症ではないかと心配である
3. 将来、自分や家族が認知症にならないか、漠然とした不安を感じる
4. 自分が認知症になったとき、家族を含め周囲に迷惑をかけないか心配である
5. 認知症をどのように予防したらいいかわからない
6. 家族など身の回りの人が認知症と診断されたときの対応や介護の方法を知らない
7. 認知症のことについて、どこに相談したらよいかわからない
8. その他( )
9. 特に心配や不安はない

問24 あなたが、もし認知症と診断された場合、どのような支援を受けたいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症の専門医を紹介してほしい
2. どのような介護・福祉サービスを利用できるかを紹介してほしい
3. 同じ境遇にある人と、不安や心配事を語り合う場がほしい
4. その他( )
5. 特に支援を受けたいと思わない
6. わからない

問25 あなたは、もし認知症と思われる方が近所にいたら、どのように接したいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 困っていることがないか本人や家族に声をかけ相談にのる
2. 本人や家族を見守る
3. 民生委員に相談する
4. 地域包括支援センター(役場福祉課内)に相談する
5. その他( )
6. 特に何もしない
7. わからない

## 成年後見制度の利用促進について

問26 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(いずれか1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. よく知っている   | 3. 言葉だけは知っている |
| 2. ある程度知っている | 4. 知らない       |

### ★成年後見制度とは

認知症や知的障がいなどの理由で、理解・判断能力が不十分な方のために、家庭裁判所が後見人等を選任し、財産管理や介護サービスや施設入所等の契約行為などを本人に代わって行わせることで、その方の権利や財産を保護するための制度です。

認知症の人や知的障がいのある人など、財産の管理や日常生活に支障がある人を社会全体で支えていくために、「成年後見制度」が果たす役割は、非常に大きなものです。

そのため、平成28年に、「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が制定されるなど、成年後見制度の利用促進に向けて、国と地方が一体となって取り組んでいるところです。

問27 町が、成年後見制度の利用促進を行う場合、最も効果的だと思う取り組みを次の中から選んでください。(いずれか1つに○)

1. 広報紙などを通じた住民全体への制度の周知
2. 専門家による講演会などを通じた住民への啓発
3. 相談会の開催などによる、制度の利用を検討している人への個別支援
4. 裁判所への申立費用や後見人への報酬支払い等に関する金銭面での支援
5. 後見人の支援のための関係機関ネットワークなどの体制づくり
6. わからない
7. その他( )

## 安全・安心な暮らしについて

問28 あなたは、災害時(台風や地震等)に一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することができますか。(いずれか1つに○)

1. 一人で避難の必要性を判断し、避難できる
2. 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない⇒問28-①へ
3. 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない⇒問28-①へ
4. わからない

問28で「2. 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」「3. 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」と回答した方におうかがいします。

問28-① 災害等で避難するとき、自宅の近くに手助けを頼める人がいますか。

(いずれか1つに○)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 同居の家族      | 4. 民生委員   |
| 2. 別居の家族、親族   | 5. その他( ) |
| 3. 近所の人、友人・知人 | 6. いない    |

問29 あなたは、急なけがや病気などによる入院などの際、だれに助けを求めますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 同居の家族       | 5. 区長を始めとする自治区の役員 |
| 2. 別居の子どもなど、親族 | 6. ケアマネジャー等の事業者   |
| 3. 近所の人、友人・知人  | 7. その他( )         |
| 4. 民生委員        | 8. 助けを求める相手はいない   |

## 介護について

問30 あなたは、介護保険制度に基づく要介護度の認定を受けていますか。(いずれか1つに○)

1. 要支援認定を受けている  
⇒右のいずれか1つに○(要支援 1・2 )
2. 要介護認定を受けている  
⇒右のいずれか1つに○(要介護 1・2・3・4・5 )
3. 要介護度の認定を受けていない

問31 あなたが介護を受ける立場なら、どのような介護を受けたいと思いますか。  
(いずれか1つに○)

1. 自宅に居住したまま、必要な介護サービスや家族による介護を選択しながら  
介護を受けたい⇒問31-①へ
2. 見守りなどのサービスが付いた高齢者専用の集合住宅に入居し、必要な介護保険  
サービスを選択して介護を受けたい
3. 少人数で共同生活をするグループホームなどに入所して、施設の介護スタッフに  
よる介護を受けたい
4. 特別養護老人ホームなどの規模の大きな介護施設に入所して、施設の介護スタッ  
フによる介護を受けたい
5. その他( )
6. わからない

問31で「1. 自宅に居住したまま、必要な介護サービスや家族による介護を選択しながら介護を受  
けたい」と回答した方におうかがいします。

問31-① 「自宅で介護を受けたい」と思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族と一緒に過ごしたいから
2. 友人・知人がまわりにいるので離れたくないから
3. 住み慣れた家を離れたくないから
4. 介護施設などに入所・入居したいが経済的に困難だから
5. 介護施設などに入所・入居したいが、希望する施設に空きがないと思うから

問32 あなたは、高齢者を介護する家族に対する支援として、何が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の相談窓口
2. 介護の知識や方法を学ぶ教室
3. 特に、認知症の対応について学ぶ教室
4. 紙おむつの支給など、町の高齢者福祉サービスに関する情報提供
5. 介護者の心のケア(カウンセリングなど)
6. 高齢者虐待防止の啓発や学習活動
7. 介護者同士で悩みや不安を語り合える場
8. 認知症などで、帰る家がわからなくなった人を早期発見するための仕組み
9. 介護支援をするボランティアと家族をつなぐ(コーディネート)仕組み
10. その他( )
11. 特にない
12. わからない

問33 あなたは、介護が必要になった場合に備えて、既に準備していることや、これから準備しよう  
と持っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民間の介護保険・保障などへの加入
2. 貯蓄など経済面での備えや、財産管理のための手配
3. 介護サービス、高齢者福祉サービスについての情報収集
4. 家族に介護を依頼する
5. 住宅の建て替えや改造
6. 高齢者専用の賃貸住宅や有料老人ホームへの住み替え
7. 子どもや親類の家への住み替え
8. その他( )
9. 特にない

## コロナ禍における暮らしについて

問34 コロナ禍における生活で困っていることは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 心身の健康面の悪化        | 5. 人と接する機会の減少による孤独や孤立 |
| 2. 家庭内の不和           | 6. 友人・知人等との付き合いの悪化    |
| 3. 地域活動の減少や休止       | 7. 収入減等による生活の困窮       |
| 4. 各種イベントの開催中止や参加制限 | 8. その他( )             |

問35 コロナ禍でも気力や体力が低下しないために心がけていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 運動を行っている      | 5. 友人・知人や地域の方々との交流を行っている |
| 2. 趣味の活動を充実させている | 6. 地域活動を行っている            |
| 3. 仕事に一層力を入れている  | 7. 特に心掛けていることはない         |
| 4. 家族の時間を大切にしている | 8. その他( )                |

問36 コロナ禍での困りごとや不安を解消するために、あなたが大切だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 感染症予防・対策の周知、啓発               |
| 2. 感染症についての相談窓口の周知              |
| 3. 生活困窮者等への経済的支援の充実             |
| 4. 感染症対策が行われた健康づくりの推進           |
| 5. 住民同士が支え合える地域づくりの推進           |
| 6. 感染者等への誹謗中傷をしない「やさしいまちづくり」の推進 |
| 7. その他( )                       |

## 高齢社会対策への総合的な取り組み等について

問37 町が取り組む、高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける社会づくりに向けた施策の中で、以下の項目についての現在の満足度と今後の重要度を教えてください。  
(項目ごとに、満足度、重要度のそれぞれ1つに○)

| 項目ごとの満足度・重要度にそれぞれ1つずつ○をしてください。         | 現在の満足度<br>各項目に対し、どの程度満足と感じているか |      |      |    | 今後の重要度<br>各項目に対し、どの程度重要と感じているか |      |           |        |
|--|--------------------------------|------|------|----|--------------------------------|------|-----------|--------|
|  | 満足                             | やや満足 | やや不満 | 不満 | 重要                             | やや重要 | あまり重要ではない | 重要ではない |
| 1. 趣味・生きがい活動など様々な社会活動への参加を促進するための取組    | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 2. 高齢になっても生涯働き続けられる環境づくりのための取組         | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 3. 健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組              | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 4. いつまでも在宅生活を続けられるような多様な介護サービスの整備      | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 5. 地域における見守り活動の促進のための取組                | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 6. 成年後見制度や高齢者虐待防止など高齢者の権利擁護のための取組      | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 7. 高齢者に対する犯罪(特殊詐欺等)や消費者被害、交通事故防止のための対策 | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 8. 高齢者向け住宅や施設の整備                       | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 9. 役場・公民館などの公共施設等(道路を含む)におけるバリアフリー化の取組 | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 10. 外出しやすい環境の整備(公共交通機関の充実など)           | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |
| 11. 住民同士の支えあい・助け合いのための活動支援や、住民の意識の啓発   | 1                              | 2    | 3    | 4  | 1                              | 2    | 3         | 4      |

